



臨床医学研究のお知らせ

聖路加国際病院では、将来の医療を向上させるため、臨床医学研究を行っています。つきましてはご理解の上、ご協力をお願い申し上げます。なお、個人情報 は 厳重に管理させていただきます。

研究計画や研究方法に関する資料をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体の目的や進行に支障となる事項以外はお知らせすることができます。ご質問がありましたら下記連絡先にお問い合わせください。

この調査では、ご協力を拒否することも自由です。もし、研究へのデータ・試料の利用を望まない場合は、下記の連絡先までご連絡いただくか、医療スタッフへ申し出てください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

【照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先】

住所：〒104-0044 東京都中央区明石町 9-1
電話：03-5550-7062 (リハビリテーション科直通)
担当者の所属・氏名：リハビリテーション科 細萱 成敏

【研究責任者】

聖路加国際病院 リハビリテーション科 細萱 成敏

当院に頭部外傷で入院された方を対象とした

自宅退院への見通しに関する研究

1.研究の対象

2020年1月～2022年10月までに当院脳神経外科または神経血管内治療科にて、頭部外傷（急性硬膜下血腫・急性硬膜外血腫・脳挫傷・外傷性くも膜下血腫）で入院加療された65歳以上の方

2.研究の目的・方法

現在、高齢頭部外傷患者さんで重度の後遺症を有する割合が増加しています。後遺症を有する患者さんにはより効果的な機能訓練を受けることが推奨されており、治療終了後、速やかな回復期病院への転院調整が望ましいとされていますが、入院早期に自宅退院が困難となる要因についての報告はまだ数が少ないです。

今回の研究では、自宅退院が困難となる要因について明らかにすることを目的としております。

なお、この調査は診療録（カルテ）に記載される内容についての調査のみとなります。

調査期間は研究倫理審査委員会承認後～2024年3月31日までの予定です。

3.研究に用いる試料・情報の種類

主なデータ項目は以下となります。

《情報》 カルテ番号、年齢、性別、リハビリテーション初回介入日、離床開始日、在院日数 等